

Hi.Go!!

さあ、行こう!!

熊本市イメージキャラクター「ひごまる」。熊本地震を受けて、新たなデザイン「ひごまる復興バージョン」が誕生！手を前に大きく突き出したポーズは前向きさと明日（未来）へ向かう姿を表しています。ひごまるとともに「がんばろう！くまもと」



作：村井健太郎氏

熊本市政策局復興総室

検索

2018 vol.14



さらに元気なふるさとをつくるために、一歩一歩前へ！



リレー走者③

熊本市動植物園の皆さん

土・日曜、祝日だけ部分開園している熊本市動植物園。現在観覧できる動物は75種487頭。約80名の職員が動物の飼育や植物の手入れ、施設管理を行い、皆さんのご来園を待っています。

みんなで会いにきてね！

入園可能エリア拡大!!

熊本地震後、復旧の状況に合わせて開園範囲を拡大し続けている熊本市動植物園。今年7月には新たに「チンパンジー愛ランド」、「パプアニューギニア館」、「ハ虫類館」が観覧できるようになり、園全体の約7割が入園可能になりました。



地震をきっかけにより絆が深まったチンパンジーの元気な姿

「群れで生活するチンパンジーたちの遊んでいるところや毛繕いしている様子など、ありのままの姿を見て欲しいですね」。飼育員の福原真治さんは、我が子を見つめるように目を細めて話してくれました。現在、5頭のチンパンジーがいる「チンパンジー愛ランド」は、上へ上へと登るチンパンジーの習性を活かし、二階建てのガラス張り構造に。地震発生時、人工保育で育った「クッキー」は野生より腕力が弱いにも関わらず、揺れの恐怖から、一生懸命網にしがみついていたそう。また地震前はあまり気が合わなかったという「カナエ」と「ユウコ」が、余震の度に寄り添うようになるなど、チンパンジー社会の中にも大きな変化があったそうです。地震の後にはしばらく食事をしなかったチンパンジーたちですが、今では元気に動いたり遊んだりする姿を見ることができるようになりました。

みんなでつながる復興のバトン

バトンをつなぎます！



熊本市動植物園スタッフ
竹屋早百合さん

ラジオ版「熊本市復興だより Hi.Go!!」熊本シティエフエム(FM791)で放送中 毎週土曜(午前9時半～)